

政策	12 安全で良好な水資源の確保						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	計画的・効率的な水道施設の整備・維持管理や水需要に応じた適切な水源が確保され、市民に対する安全かつ良質な水の安定供給が図られている。 生活雑排水処理対策の推進が図られ、市民の快適な生活環境が確保されている。 治水・利水・環境・景観等に配慮した河川環境が形成されている。						
成果指標	上下水道整備・管理市民満足度 5年間(H30～H34)で65.0%（現状値63.0%） 河川環境基準(BOD)達成率 5年間(H30～H34)で100.0%（現状値93.5%）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [ % ]	予定	63.00			65.00	
		実績					
	成果指標2 [ % ]	予定	94.40	95.30	97.20	98.10	100.00
		実績	96.40	96.00			
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	14,350,485	14,578,642	14,464,442	0	0	
	実績	13,953,824	14,578,642	14,464,442	0	0	
内部評価	貢献度	基本施策が目指す姿である、安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の目標の達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	単位施策においては、生活排水処理施設の整備・管理は目標値に達したが、他の単位施策については、目標値に達することができなかった。					
	課題	基本施策目標値達成のため、直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民に対しての普及啓発等の工夫が必要である。					
	取組方針	目標値達成のため、水道施設の布設替え計画の見直しや生活排水施設の利用促進、普及活動に努める。また、水路等の維持管理を適正に行い、良好な河川環境の形成を図る。					
外部評価	<p>基本施策の指標にBOD達成率があり、昨年度は、例年より基準値を下回る河川が増えたことにより、現状値が下がったということであるが、その河川のBODが下がった原因を特定すべき。また、この指標自体が単純に基準値をクリアしているかどうかといったことになっている指標であるため、全体的に水質が良くなっているのかわからない。指標は指標として、補足で数値も示した方が良いと考える。</p> <p>有収率に関して、昨年布設替えを例年より多く費用をかけて行ったとのことであるが、市の有収率が県内で最低であったということもあり、有収率の向上には努めるべきである。直ぐに数値には表れないようだが、このままのままでは、下がる一方であるように思われるので、将来のことを考えると、費用が掛かっても行うべきであると考えている。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	1201	上水道の整備・管理				4,870,441	100
	1202	生活排水処理施設の整備・管理				9,686,727	100
	1203	河川環境の整備・管理				21,215	100

## 基本施策評価表 補表

施策	12 安全で良好な水資源の確保		
区分	妥当性	妥当	安全で良好な水資源を確保するうえでは、有効であり欠かせないものである。
	コスト削減の余地	有	各单位施策内の事業を見直し、また、調整等を行うことで経費の削減が出来る。
	受益者負担	適正	負担の割合は適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の目標達成への貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	各单位施策を進めることで成果も向上する。
内部評価	貢献度	基本施策が目指す姿である、安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の達成は大きく貢献するものである。	
	達成状況	市民満足度の調査を平成28年度に実施した。河川環境基準(BOD)達成率については平成31年度の目標に達していないが、単位施策については概ね目標のとおり進捗している。	
	課題	基本施策目標値達成のために、単位施策及び各事業についての努力が必要。直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民啓発が必要。	
	取組方針	目標値達成のため、単位施策及び事業の実績向上を図る。	